

商品名 メロキシカム錠10mg「NPI」 医薬品基本情報

薬効	1149 その他の解熱鎮痛消炎剤	一般名	メロキシカム10mg錠
英名	Meloxicam	剤型	錠
薬価	10.80	規格	10mg 1錠
メーカー	日本薬品	毒劇区分	

メロキシカム錠10mg「NPI」の効能・効果

(肩関節周囲炎、変形性関節症、腰痛症、関節リウマチ、頸肩腕症候群)の(消炎、鎮痛)

メロキシカム錠10mg「NPI」の使用制限等

- | | | |
|--|-------|--------|
| 1. 消化性潰瘍、重篤な血液異常、重篤な肝機能障害、重篤な腎機能障害、重篤な心機能不全、重篤な高血圧症、類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、アスピリン喘息又はその既往、非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作又はその既往 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 禁止 |
| 2. 非ステロイド性消炎鎮痛剤の長期投与による消化性潰瘍 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 慎重投与 |
| 3. 消化性潰瘍の既往、消化管障害発生のリスクファクターの高い、血液異常<重篤な血液異常を除く>又はその既往、心機能障害<重篤な心機能不全を除く>、高血圧症<重篤な高血圧症を除く>、気管支喘息<アスピリン喘息又はその既往歴を除く>、循環体流量が減少している状態、体液喪失を伴う大手術直後、出血傾向、炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、腎機能障害<重篤な腎機能障害を除く>又はその既往、肝機能障害<重篤な肝機能障害を除く>又はその既往 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 注意 |

メロキシカム錠10mg「NPI」の副作用等

- | | | |
|--|------|--------|
| 1. 吐血、急性腎障害、無顆粒球症、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、水疱、多形紅斑、ショック、肝炎、再生不良性貧血、骨髓機能抑制、ネフローゼ症候群、心筋梗塞、脳血管障害、心血管系血栓塞栓性事象 | 記載場所 | 重大な副作用 |
| | 頻度 | 頻度不明 |
| 2. 消化性潰瘍、穿孔、下血、胃腸出血、血小板減少、重篤な肝機能障害 | 記載場所 | 重大な副作用 |
| | 頻度 | 5%未満 |

3. 大腸炎、喘息、アナフィラキシー、血管浮腫	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 腹痛	記載場所	その他の副作用
5. 胃炎、錯乱、失見当識、抑うつ、結膜炎、視覚障害、霧視、排尿障害、尿閉	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
6. 血圧上昇、口内炎、口内乾燥、口角炎、食道炎、嘔吐、悪心、嘔気、食欲不振、胃潰瘍、消化不良、鼓腸放屁、下痢、便潜血、おくび、頭痛、味覚障害、過敏症、発疹、皮膚そう痒、蕁麻疹、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、Al-P上昇、肝機能障害、ウロビリノーゲン上昇、総ビリルビン値上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、尿酸値上昇、総蛋白低下、アルブミン低下、尿蛋白、尿糖、白血球増加、赤血球減少、白血球減少、ヘモグロビン減少、ヘマトクリット値減少、リンパ球減少、好中球増加、好酸球増加、好塩基球増加、単球増加、貧血、浮腫、倦怠感、気分不快、尿沈渣増加、尿潜血、血清鉄減少、カリウム上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 低血圧、動悸、腹部膨満感、便秘、知覚異常、眠気、眩暈、接触性皮膚炎、光線過敏性反応、眼異物感、眼球強膜充血、耳鳴、尿量減少、咳嗽、腋窩の痛み、乳房の痛み、悪寒、潮紅、ほてり、発熱、下肢脱力	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
8. 感染症を不顕性化、血小板機能異常、黄体数減少、着床数減少、生存胎仔数減少、着床率低下、着床後死亡率増加、妊娠期間延長、死産仔数増加、分娩時間遷延、生後4日までの死亡仔数増加、消化管障害、胃腸出血、潰瘍、穿孔、重篤な転帰、致死性消化管障害、一時的不妊	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

メロキシカム錠10mg「NPI」の相互作用

1. 薬剤名等：消炎鎮痛剤			
発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	希望禁止
2. 薬剤名等：ACE阻害薬			
発現事象	糸球体濾過量がより減少、腎機能障害のある患者では急性腎障害	投与条件	-
理由・原因	プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下	指示	注意
3. 薬剤名等：アンジオテンシン2受容体拮抗剤			
発現事象	糸球体濾過量がより減少、腎機能障害のある患者では急性腎障害	投与条件	-
理由・原因	プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下	指示	注意
4. 薬剤名等：選択的セロトニン再取り込み阻害剤			
発現事象	出血傾向が増強	投与条件	-
理由・原因	選択的セロトニン再取り込み阻害剤は血小板凝集抑制作用を有する	指示	注意

5. 薬剤名等 : プロスタグランジン合成阻害剤

発現事象 消化性潰瘍および胃腸出血のリスクを高める

投与条件 -

理由・原因 両剤ともプロスタグランジン合成阻害作用を有する

指示 注意

6. 薬剤名等 : 抗凝固剤

発現事象 出血傾向が増強

投与条件 -

理由・原因 これら薬剤は抗凝固作用を有する

指示 注意

7. 薬剤名等 : 抗血小板剤

発現事象 出血傾向が増強

投与条件 -

理由・原因 抗血小板剤は血小板凝集抑制作用を有する

指示 注意

8. 薬剤名等 : 血栓溶解剤

発現事象 出血傾向が増強

投与条件 -

理由・原因 これら薬剤は血栓溶解作用を有する

指示 注意

9. 薬剤名等 : コレスチラミン

発現事象 本剤の作用が減弱

投与条件 -

理由・原因 コレスチラミンの薬物吸着作用により、本剤の消失が速まる

指示 注意

10. 薬剤名等 : 経口血糖降下剤

発現事象 本剤の作用が増強

投与条件 -

理由・原因 グリベンクラミドが本剤の代謝を阻害

指示 注意

11. 薬剤名等 : キニジン

発現事象 本剤の作用が減弱

投与条件 -

理由・原因 キニジンが本剤の代謝を亢進

指示 注意

12. 薬剤名等 : リチウム

発現事象 血中リチウム濃度が上昇、他の非ステロイド性消炎鎮痛剤でリチウム中毒

投与条件 -

理由・原因 プロスタグランジン合成阻害作用により、リチウムの腎排泄が遅延

指示 注意

13. 薬剤名等 : メトトレキサート

発現事象 血液障害を悪化

投与条件 -

理由・原因 プロスタグランジン合成阻害作用により、メトトレキサートの尿細管分泌を抑制

指示 注意

14. 薬剤名等：利尿剤

発現事象 非ステロイド性消炎鎮痛剤で急性腎障害

投与条件 -

理由・原因 プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量低下及び水、ナトリウムの貯留が起こる

指示 注意

15. 薬剤名等：降圧薬

発現事象 他の非ステロイド性消炎鎮痛剤で降圧薬の効果を減弱

投与条件 -

理由・原因 血管拡張作用を有するプロスタグランジンの合成が阻害

指示 注意

16. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象 腎毒性が非ステロイド性消炎鎮痛剤により増強

投与条件 -

理由・原因 プロスタグランジン合成阻害作用により腎血流量が減少

指示 注意

